



2026年4月22日

各位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード3070)
本社所在地 東京都台東区上野1丁目16番5号
代表者 代表取締役社長 宮崎 明
問合せ先 取締役 IR広報室長 林 光
電話番号 (03) 4570-6139
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

株式会社バイオセラーとの業務提携契約締結（生ごみ処理ソリューション事業）
及び生ごみ処理機の受注契約締結に関するお知らせ

子会社株式会社JBサステナブル（東京都中央区、代表取締役：宮崎 明、以下「JBサステナブル」）は、本日開催の同社の取締役会にて、株式会社バイオセラー（滋賀県草津市、代表取締役：北川善信、以下「バイオセラー社」）との間で、生ごみ処理ソリューション事業に関する業務提携契約を締結すること及び、当社の取引先より生ごみ処理機を受注することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携契約締結（バイオセラー社）について

(1) 業務提携の背景

JBサステナブルは、持続可能な社会の実現を目指し、環境ソリューション事業を推進しております。昨今、企業のESG経営への関心が高まる中、事業所等から排出される生ごみの資源化・減量化は喫緊の課題となっています。

バイオセラー社は、独自の微生物分解技術を用いた高性能な業務用生ごみ処理機の開発・製造において高い技術力を有しております。今般、JBサステナブルの持つ営業ネットワークおよびソリューション構築力と、バイオセラー社の製品力を融合させることで、導入提案から設置、保守、さらにはサブスクリプション型の運用サービスまでをワンストップで提供する「生ごみ処理ソリューション事業」を共同で展開することに合意いたしました。

(2) 業務提携の内容

本提携に基づき、JBサステナブルはバイオセラー社製の生ごみ処理機の非独占的販売権を取得し、以下の事業を推進いたします。

ア. 重点分野に対する導入提案および営業活動の展開

今後、本ソリューションの導入が強く見込まれる食品工場、宿泊施設、商業施設、および自治体関連施設を重点分野と位置づけ、バイオセラー社の技術を軸とした環境負荷低減支援を実施いたします。生ごみを発生源（オンサイト）で処理することで、廃棄物収集運搬コストの削減とCO2排出量低減を同時に実現する、実効性の高いコンサルティング営業を推進してまいります。

イ. リース・レンタルおよびサブスクリプションモデルによる運用サービスの構築

顧客の導入ハードルを低減し、早期の市場浸透を図るため、製品売買に留まらない柔軟な提供スキームを構築いたします。初期投資を抑えたリース・レンタルに加え、消耗品の供給と定期メンテナンスをパッケージ化したサブスクリプション型サービス（月額利用制）を提供することで、顧客の利便性向上とともに、当社における安定的なストック収益基盤の確立を図ります。

ウ. 両社の共同ブランドによるソリューション展開の検討

単なる機器販売の枠組みを超え、両社の強みを統合した高付加価値な独自ソリューションの創出を目指します。処理後の残渣（堆肥等）を地域農業等で再利用する「資源循環スキーム」の共同パッケージ化や、IoT技術を用いた処理状況の可視化など、持続可能な社会（サーキュラーエコノミー）の実現に寄与する次世代型ソリューション

の展開を検討してまいります。

(3) 提携によるメリット

本提携により、JB サステナブルは、バイオセラー社の高性能微生物分解技術をラインナップに加えることで、環境ソリューション事業の競争力を飛躍的に高めます。また、サブスクリプションモデルにより、継続的かつ安定的な収益基盤を構築することが可能となります。

(4) 契約締結先企業について

(1) 名 称	株式会社バイオセラー			
(2) 所 在 地	滋賀県草津市長束町 209-2			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 北川 善信			
(4) 事 業 内 容	業務用生ごみ処理機「バイオパワー」 1,000kg 機/500kg 機/100kg 機の製造及び販売 微生物、菌床材の培養、生産及び販売			
(5) 資 本 金	9,460 万円 資本準備金 4,460 万円			
(6) 設 立 年 月 日	平成 29 年 11 月 1 日			
(7) 大株主及び持株比率	北川善信 21.5% (普通株式) アグリビジネス投資育成株式会社 35.9% (A 種優先)			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません		
	人 的 関 係	該当事項はありません		
	取 引 関 係	該当事項はありません		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023 年 9 月期	2024 年 9 月期	2025 年 9 月期
純 資 産		41 百万円	41 百万円	106 百万円
総 資 産		266 百万円	270 百万円	366 百万円
1 株あたりの純資産		41,000 円	41,000 円	56,025 円
売 上 高		310 百万円	330 百万円	230 百万円
営 業 利 益		5 百万円	6 百万円	6 百万円
経 常 利 益		3 百万円	1 百万円	△4 百万円
当 期 純 利 益		3 百万円	1 百万円	△5 百万円
1 株当たり当期純利益		3,000 円	1,000 円	△2,642 円
1 株当たりの配当金		-	-	-

(5) 日程

(1) 取締役会決議	2026 年 4 月 22 日
(2) 業務提携契約締結日	2026 年 4 月 22 日
(3) 業務提携開始日	2026 年 4 月 22 日

(6) 今後の見通し

本事業による当社の 2027 年 1 月期の業績に与える影響は精査中ですが、今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 受注契約締結について

(1) 受注の背景

本件の取引先は、地域密着型の食品スーパーマーケットを展開しており、かねてより「食」を通じて地域社会に貢献するとともに、食品ロスの削減やリサイクルの推進といった環境配慮型の店舗運営に積極的に取り組まれています。今般、店舗から排出される生ごみの更なる減量化と、廃棄コストおよび運搬に伴う CO2 排出量の削減が重要な経営課題となっております。

これに対し、JB サステナブルが提案する「BIOPOWER」の、オンサイト（発生源）での

迅速な分解能力、および排水・臭気を抑えたクリーンな運用実績が高く評価されました。また、処理後の残渣を堆肥として再利用する循環型モデルが、取引先の掲げる持続可能な地域社会の実現というビジョンと合致したことから、本機の導入に至ったものです。

※取引先名は相手からの要望により非開示といたします。なお、当該取引先と当社の間
に資本関係、人的関係はございません。また、関連当事者間取引にも該当いたしません。

(2) 受注概要について

本件における受注の詳細は以下の通りです。

受注内容	受注金額	納期
BIO POWER 500R	28,050,000 円	2026 年 5 月末

(3) 「BIO POWER」の特徴について

業務用生ごみ処理機「BIOPOWER (バイオパワー)」は、独自開発の強力な微生物「ヌーボー菌」により、投入した生ごみを 24 時間で約 80%以上減量・資源化する高効率なバイオ式処理機です。排水設備が不要なため設置場所を選ばず、高度な脱臭システムの搭載により、施設内でもクリーンで無臭な運用を実現します。センサーによる自動制御や遠隔監視システムにより、専門知識がなくても安定した稼働が可能です。単なる廃棄物処理に留まらず、生成物を高品質な堆肥として再利用できるため、コスト削減と同時に企業の SDGs や循環型社会への貢献を強力に推進します。

(4) 今後の見通し

本取引における売上および利益は、2027 年 1 月期に計上される予定です。

以上